

トホクのゴボウ栽培方法

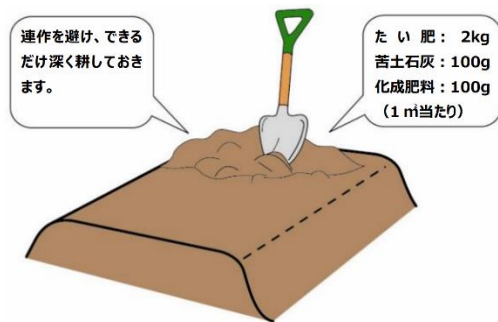
発芽適温：20～25℃ 生育適温：20～25℃
 土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；3～5年あける

1. 作物特性

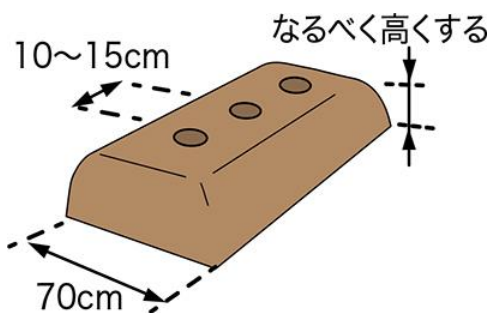
ゴボウを家庭菜園で作る場合、1m 位の長い根を収穫しようとするときかなり深くまで畑を耕す必要があります。そのため逆にうねを高くすることも一つの方法です。一方「大浦ごぼう」や「うまいごぼう」といった短根種や、若いうちに収穫する「サラダごぼう」もお勧めします。ゴボウは連作を嫌う作物で、連作するとセンチュウによる被害や根部に黒いシミ状の病気が発生しやすくなります。

2. 畑の準備・タネまき

連作を避け 5 年以上ゴボウを栽培していない場所で作るようにします。また耕土が深く水はけの良い圃場を選びます。



ゴボウのタネは皮が硬く吸水しにくいので、順調に発芽させるためにタネをガーゼなどに包み一晩流水に漬けて催芽処理をしておくのが良いです。



タネは深さ 1cm くらいのまき穴をあけ、そこに催芽処理したタネを 1 カ所に 3～4 粒まき、土をかけ、手のひらで軽く押さえます。株間は滝野川ごぼうでは 10cm くらいですが、大浦ごぼうを太くして収穫したい場合は 15cm くらいに広くとります。発芽するまでの 1～2 週間は土を乾かさないう、適度な水分を保つように水をやります。また、乾燥や大雨で土が硬くなるのを防ぐため、防虫ネットなどで保護すると良いでしょう。

3. 栽培管理

本葉 3 枚の頃に、間引いて 1 本にします。その際、残した株が倒れないよう手で押さえながらゆっくり引き抜くか、根元からはさみで切ります。



追肥は間引きと同時にいきます。1㎡当たり化成肥料 50g を追肥し、土と混ざるよう 2cm 位の深さまで軽く表面を耕します。

4. 収穫

タネをまいてから収穫までの日数は、「うまいごぼう」や「サラダごぼう」では 90 日位から収穫可能です。「滝野川ごぼう」などの長根種ではタネまきから 150～180 日後、「大浦ごぼう」では 150 日位で収穫期です。地中深く伸びているゴボウを、いきなり抜いて収穫するのは力も要りますし、たいていは途中で折れてしまいます。



まず茎を 10cm 位残して刈り取ります。その後根の周辺をあらかじめ掘り返します。

「うまいごぼう」や「サラダごぼう」なら簡単に抜くことができます。

滝野川ごぼうなど

地域/月	栽培例											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地												
中間地												
暖地												

うまいごぼうなど

地域/月	栽培例											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地												
中間地												
暖地												